

グループ名 ・代表者名	パワーシフト・キャンペーン運営委員会 吉田 明子	助成金額	40 万円
連絡先など	info@power-shift.org		
助成のテーマ	電力小売全面自由化にむけて ～地域再エネ電力会社の状況調査と情報共有		

【調査研究の概要】

- ・2016年4月からの電力小売全面自由化は、一般家庭も電力会社を選べるようになるという一つの大きな契機である。一連の電力システム改革を通じて、再生可能エネルギーを導入・普及しやすくなることが期待されている。一方で、自由競争により、価格の安さに注目が集まり、石炭火力や原子力など「安価」とされているが環境負荷の高い電源に流れていくことも大いに懸念される。
- ・本活動では、小売全面自由化を含め電力システム改革に関わる制度設計に関して、審議会議論の追跡や各ステークホルダーとの意見交換を行い、また「再生可能エネルギー普及の観点」「消費者の選択の観点」から、提言活動や世論喚起、情報普及を行っている。
- ・同時に、各地の団体と連携し、地域ごとの特性や事情に沿った情報共有、電力会社に関する調査や情報普及を進めるための基盤づくりを行う。電力小売については、全国もしくは複数地域を対象に実施する事業者もあるが、地域を限って営業する事業者も多数見られる。また、全国の市民が注目している問題であるため、東京からだけでなく、各地に拠点となる団体・ネットワークが必要である。
- ・本活動では、2015年から2020年にかけて、調査研究で得た情報をもとに、再生可能エネルギー供給を目指す小売電気事業者を紹介し、具体的な切り替えを促すことを目指す。

【調査研究の経過】

- ・再エネ電力会社の紹介は、2016年度を通じて10社追加し（2017年3月現在22社）、ほかにもヒアリング・情報収集を行った。
- ・8月26日、2月2日に電力会社との意見交換会を開催し、それぞれ9社、15社の参加を得た。事業者が抱える課題やキャンペーンとの連携の方向性について具体的な意見交換を行うことができた。
- ・アースデイ東京やエコプロ2016ほか各地のイベントへの出展やSNS、各地でのセミナー開催、メディアを通じたアピールなどで世論喚起を行った。
- ・パワーシフト宣言が5000に達した。
- ・再生可能エネルギーや電力システム改革に関する政策をウォッチし、提言や世論喚起を行った。託送料金問題に関する電力会社調査、院内集会開催など（2016年9～2017年1月）。

【今後の展望など】

- ・電力会社の状況把握は、各地の運営メンバーで連携して、紹介や情報アップデートを進めていきたい。
- ・2016年度に電力会社との意見交換を2回開催したが、有意義で好評だった。2017年度も予定している。
- ・2017年度は、企業への働きかけ・連携に注力し、輪を広げるとともにアピール・発信力を高めたい。

会計報告書の概要（金額単位：千円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	交通費（ヒアリング、会合など）	639	17	622	
資料費	関連専門書、専門誌購読	54	5	49	
会議費	会議・シンポジウム会場費、会合資料等印刷費、イベント出展等	431	10	295	126
印刷費	広報ちらし印刷費、バナー・展示パネル等	243	40	203	
協力者謝礼など	講師謝金、調査等協力謝礼	155	20	135	
外部委託費	デザイン等、ウェブサイトリニューアル、アルバイト人件費	1,196		1,196	
その他	事務局運営経費、支払い手数料等、備品、広告料、宅配・郵便代金等	1,665	308	964	393
合 計		4,383	400	3,464	519

参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など）

- ・パワーシフト・キャンペーン <http://power-shift.org/>

2016年度
高木基金報告



パワーシフト！

自然エネルギーを重視する
電力会社を選ぼう

2017年7月

国際環境NGO FoE Japan

吉田明子 yoshida@foejapan.org



パワーシフト・キャンペーンー2016年度

1) 再生可能エネルギーによる電力供給が促進されるように国の政策に働きかける

- ・「貫徹委員会」フォロー、託送料金問題
- ・FIT法改正フォロー



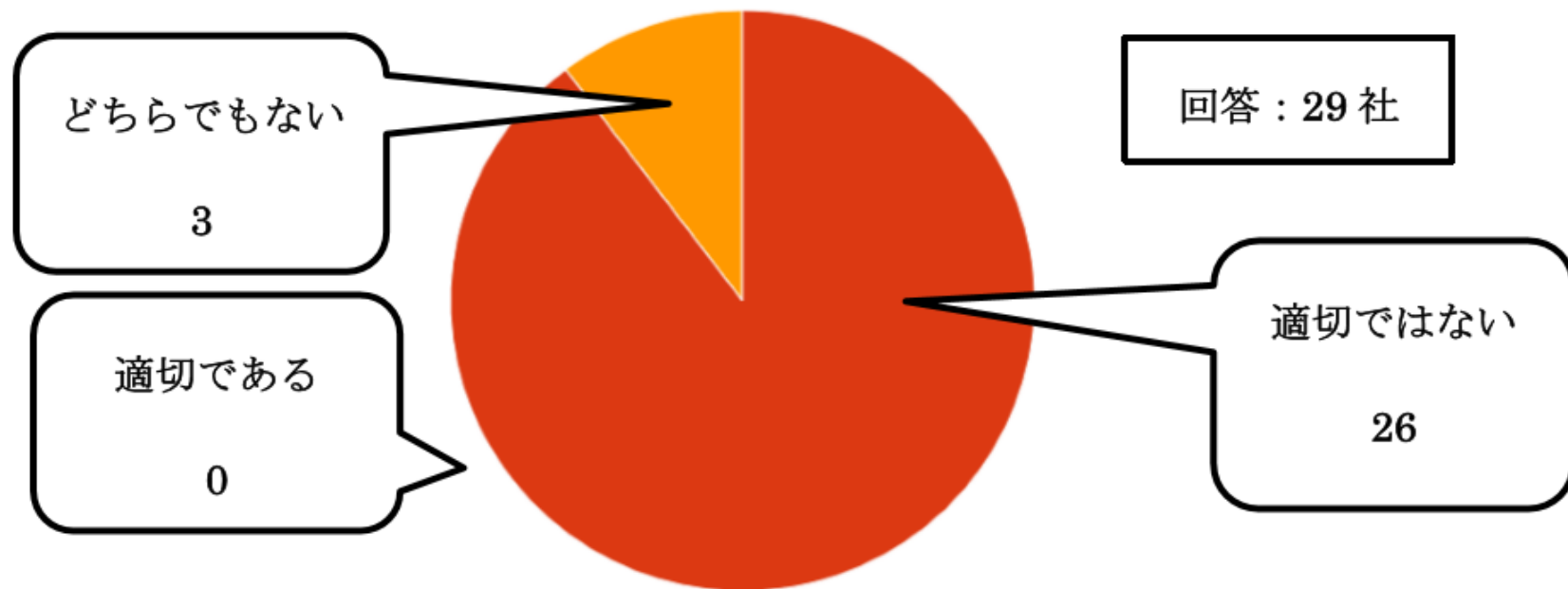
2) 再生可能エネルギー重視の電力会社を「選びたい」という市民の声を可視化し、大きく広げる

- ・具体的な電力会社の紹介(14社⇒22社)
- ・電力会社との意見交換会(8月、2月)
- ・「パワーシフトした事業所」の紹介
- ・各地でのシンポジウムや勉強会開催



新電力アンケート(2016年11月)

- 新電力からも「適切でない」との声
- 送付約170社中29社が回答



賛同募集！

賠償は東電責任
廃炉は事業者責任
「託送料金」
はおかしい

110団体、5000の賛同
署名とともに提出
(12月14日)



院内集会

原発の事故処理・賠償費用、廃炉費用 誰がどのように負担するか

2016年12月14日(水)

11:00 - 13:00

主催： 原子力市民委員会、原発ゼロの会、
国会エネルギー調査会(準備会)有識者チーム、
市民電力連絡会、eシフト、
パワーシフト・キャンペーン、
環境エネルギー政策研究所
後援： 全国消費者団体連絡会



再エネ供給を目指す電力会社 インタビューを紹介中！ <http://power-shift.org/choice>

自治体電力会社

泉佐野電力



とっとり市民電力

地域密着

もっと地元が好きになる。

水戸電力

MITO Electric Power Company, Incorporated



湘南電力



DENKEN group

新電力おおいた

長崎地域電力

powered by ジョースロ

Green People's Power



再エネ事業者(地域横断) ほか



ソーシャル・エネルギー・カンパニー

みんな電力



生協系

株式会社

パルシステム電力

生活クラブエナジー



電力会社紹介

湘南電力株式会社



パートナー企業と共に、電力事業を通して湘南地域を活性化させる様々なサービスを生み出し、湘南地域での環境にやさしい再生可能エネルギーの普及や、電力の地産地消を展開していきます。

湘南電力サイト <http://www.shoran-power.co.jp>

供給エリア	神奈川県
小売供給の開始時期	高圧:2015年6月
	低圧(事業所など):2016年10月予定
	低圧(家庭):2016年10月予定
事業対象(販売先)	企業、自治体、学校法人等
電源構成	・2016年度見込み:

湘南電力株式会社

取締役社長 渡部健氏

●電力小売事業を始めたきっかけはなんでしょか？

親会社であるエナリスは、地域における電力事業を展開し、その土地で発電から消費までを担う、「エネルギーの地産地消」を理念に掲げて取り組んでいます。そしてアイデアを出し合うなかで、一緒に電力事業に取り組み、その収益の一部をプロサッカーチームでJ1に所属する湘南ベルマーレに還元し、地域活性化に役立てていくという「湘南電力」の事業に結び付きました。“地域に根ざす”という思いが湘南ベルマーレと一致したことが大きかったと思います。



●貴社の事業対象やエリアの特徴はなんでしょか？

湘南ベルマーレのホームタウンである、神奈川県平塚市を中心に湘南地域に在る企業や学校法人など、特に湘南ベルマーレのサポーター企業を中心に電力を供給しています。
湘南地域は、ご承知の通り、全国的に有名なエリアで、お子様からお年寄りまで魅力的なスポットがたくさんあります。また住民のみなさんは環境や地域貢献に対する意識が高いと思います。

●最も苦労している(した)ことはなんでしょか？

は、収益の一部を湘南ベルマーレが行う地域貢献活動に還元します。即ち地産地消で地域を活性化させることが我々の使命です。湘南ベルマーレサポーター企業には、我々のビジネスモデルを理解して頂いていますが、まだ業認知が無いため、サポーター企業以外へのアプローチが十分にできていないのが現状です。
湘南ベルマーレ、神奈川県や自治体も当社を応援していただいているので、今後はサポーター以外の企業へのアプローチや平塚市以外の湘南地域へのアプローチをしていきます。

- ・電力小売事業を始めたきっかけ
- ・特徴など
- ・苦労していること
- ・ビジョン

「再エネを重視する電力会社」 パワーシフト・キャンペーンが重視する点

電源構成など
情報開示

再エネを重視
して調達

原発・石炭火力は
調達しない

市民・地域の
再エネを重視

大手電力の
子会社でない

 * 再エネは、持続可能で、地域の合意を得たもの

課題

再エネ調達

- 太陽光が中心の場合、夜間分
- 家庭の太陽光や市民共同発電は小規模
- 入札の場合大手が有利

顧客獲得

- 「安さ」をアピールする大手との差別化
- 再エネ需要をどう発掘するか

その他経営面

- 送配電会社からのデータ通知遅れ
- 再エネ調達計画の遅れ・変更
- 顧客対応体制

しかしそれでも、
再エネを重視した電力供給を目指して
準備中の会社が多数！

消費者の「再エネの電気を使いたい」声
による後押しは不可欠！

現在の状況は・・・

いままでの
地域電力会社

大企業
などの
電力会社

パワ-
シフト

再エネ
重視

再エネ
重視

宣伝力
セツ割

既存のつながり
値引き



電力自由化？



0:42 / 1:13

シフト

- 気候ネットワーク「アンチコールマンの世界」

今後どうなる？

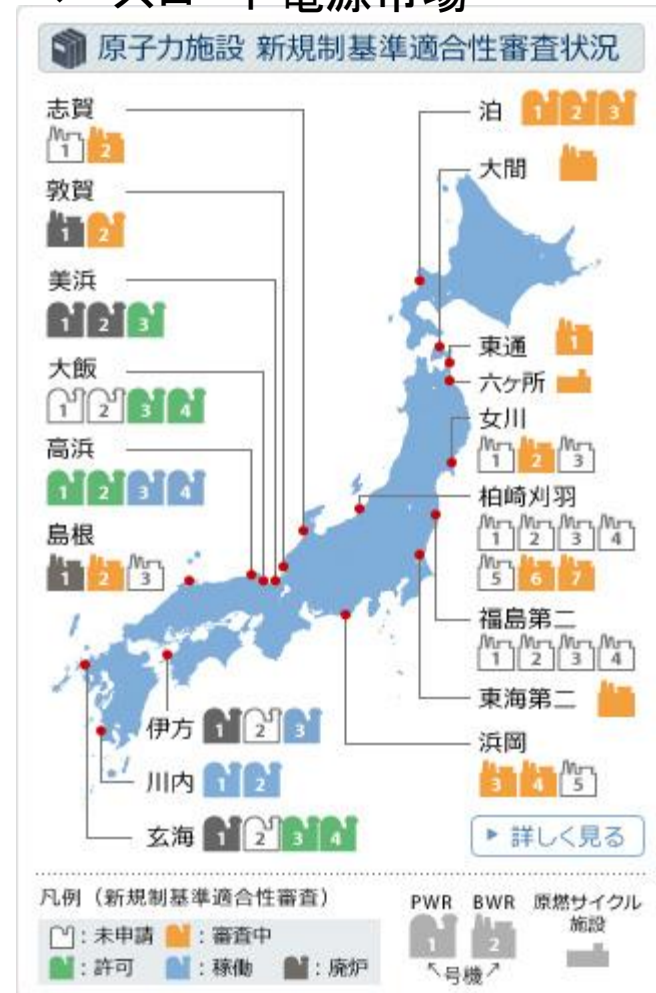
石炭火力新設／原発再稼働

2017年に入り、
4基(3か所)が中止に！

- ・電力需要減少
- ・パリ協定
- ・事業性懸念



2020年～
非化石価値取引市場(原子力含む)
ベースロード電源市場



出典: 電気事業
連合会

出典: 気候ネットワーク石炭発電所新設ウォッチ
<http://sekitan.jp/plant-map/v>

世界の企業は確実に再エネシフトへ

RE 100



Adobe



BMW GROUP

COMMERZBANK



facebook

Goldman Sachs

Google



Johnson & Johnson

FAMILY OF COMPANIES



× NO! 化石燃料
ダイベストメント

ノルウェーなど年金基金
銀行
大学
都市
宗教法人
財団 など世界に広がる

パワ-

シフト

パワ-
シフト

日本でもさらに進めるために・・・!

パワーシフトな企業・事業所

- ① 自社の工場・店舗・本社ビルなどをパワーシフト
- ② お客様など周囲の人にパワーシフトをともに呼びかけ

LUSH FRESH
HANDMADE
COSMETICS

2016年4月、店頭にて



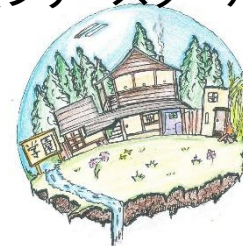
patagonia

「No Nukes, Go Renewable」




SAYEGUSA
SINCE 1869 BINZA

楠学園
(フリースクール)



鈴廣たまぼこ

自由の森学園 中学校・高等学校
JIYUNOMORI GAKUEN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



ソーシャル・イノベーション・マガジン!

alterna



パワーシフト体験談！

パワーシフト体験談

【都道府県、年代、性別】

- ・切り替えた電力会社
- ・その電力会社に切り替えた理由、感想など

【東京都、20代、男性】

・みんな電力

IT企業など大企業も再エネ100%調達を行うなど、世界で再エネ投資が進んでいます。

明らかに、再エネの方向に世の中が進んでいるのが見えてきています。

そこに、自分自身も参加できるというのは、ワクワクすることだと思い、パワーシフトを決めました。

【京都府、30代、夫婦】

・生活クラブエナジー

・生活クラブエナジーには、「生活クラブのエネルギー7原則」というのがあります。このトップに来るのが「1. 省エネルギーを柱とします。」で、ここにとっても共感しました。乗り換えた先の電力会社が「使うほど安くなる」ような料金体系では意味がないと思ったんです。他にもこの7原則と前文は自分達の考えに近く、今は完璧じゃなくとも**今後に希望がある**と思い、決めました。

なぜ

その電力会社を 選んだのか？

各地の団体や企業との連携

SNS

口コミ

各地の
イベント

京都、
関西

鳥取・島
根、
中国地方

福岡
熊本

地域の
勉強会

各団体
からの
発信

山形

名古屋・
東海

「パワーシフトな企業・
事業所」
「パワーシフト体験談」
などなど

北海道

仙台

首都圏
各地

コラボ
ツール

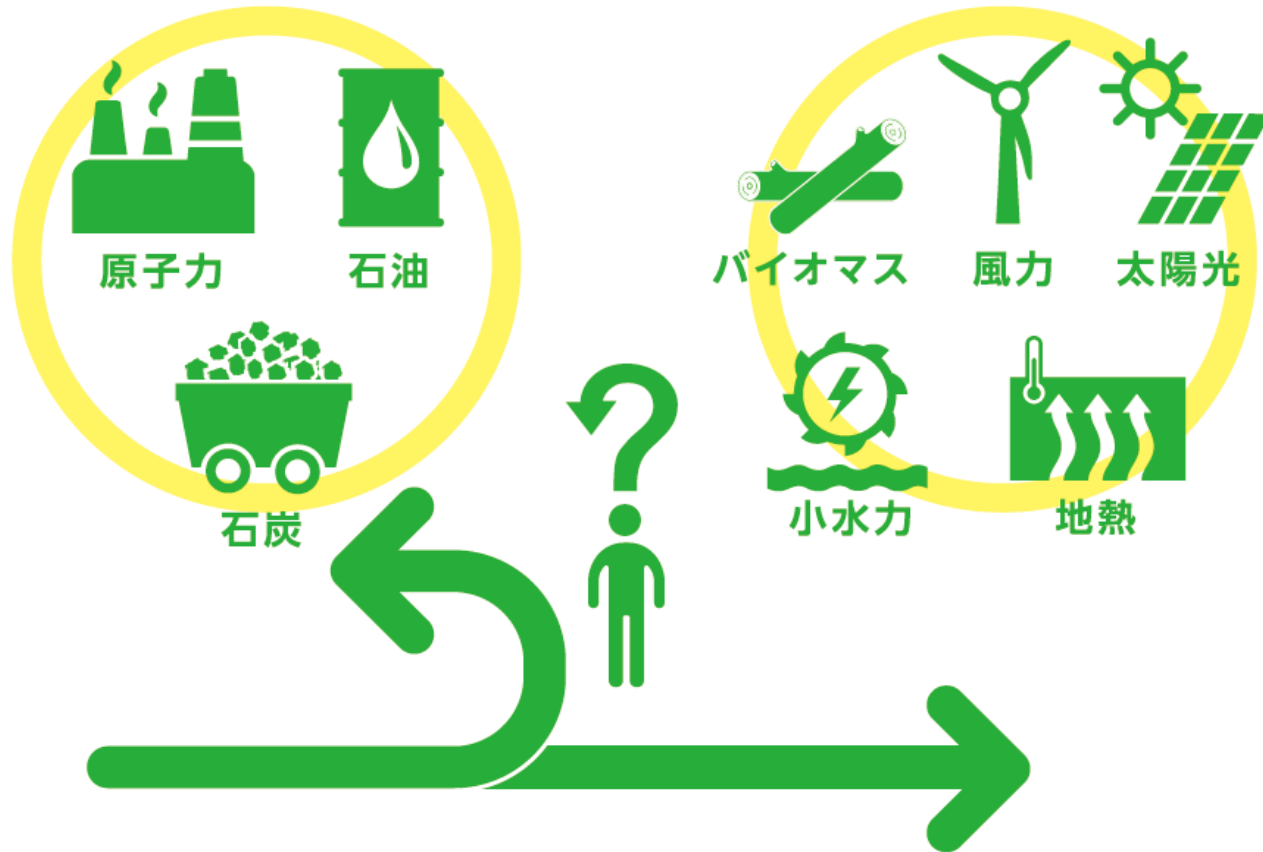
パワ-
シフト

再エネ
電力会社を
選びました

LOGO

デンキを選べば社会が変わる！

2017年～行動の年に



<http://power-shift.org>